

林惱煩遊

報
2020年
5月

永代経 法要

五月十七日(日)

午前十一時三十分より

読経(衆僧総供養)無参詣

法話(大喜利法話)

YouTube 配信予定

風薫る五月、貴家皆様にはご清祥にてお
過ごしの事と存じます。

さて、今年の「永代読経法要」はコロナウ
イルスの拡散を防ぐため参詣をお断りし
ての住職、副住職、衆徒の三人での内勤め

厳修となります。

「永代経」とは、「私」が子供や孫そして
子孫の幸福を願うと同じように「私」に幸
せで在って欲しいと願って下さっている仏
となられたご先祖に感謝の思いを込めて僧
俗共に勤める大切な行事です

常日頃、生活の多忙さにかまけて、つい
つい忘れていらっしゃるご先祖のお蔭に気づき、仏
恩報謝のひと時を共にすごしましょう。

当山順正寺では永代読経志を左記に定め、順正寺
永代読経過去帳に記載し永代供養致しております。
*ご希望の方は住職までお申し出下さい。

* 特別永代読経(毎月ご命日読経、祥月命
日特別読経)

志納金参拾萬円以上
* 永代読経(毎月ご命日読経)

志納金壹拾五萬円

永代経です。永代経の「永代」とはいつの時代でもどこでも煩惱の衆生を一切の際限を無くして救い続けるという願いをあらわす言葉です。

さて、この度の新型コロナウイルスによる影響は病そのものに留まらず私たちの生活全般に暗い影を落としています。おひとり、おひとりにお見舞い申し上げます。

かつてインドの開放の父と呼ばれたガンジー首相の言葉に

「恐怖は、マラリヤや黒熱病より恐ろしい病気である。

マラリヤや黒熱病は体を蝕む。しかし、恐怖は精神を蝕む」と、あります。先の「永代」とは、まさにこのことかと合点がいました。時代も、病も違うがそこからくる、どうなってしまうのだろうという不安は、私の心に「怒り」「ねたみ」「おごり」を発生させ、何か落ち着かないどんよりした、また、いらいらし昏い状態にします。

しかし、有難いのは、このガンジーのように、お釈迦様の教えを生きた先達がそのことを気づかせてくれる言葉を残してくれて、またそれを伝えてきた人々がいる事です。自分の精神状態に気が付くと、まあ、気が付いても状況は変わらないので不安は無くなりませんが、自分の心の在り方を渦中から少し距離を置いて客観的に観る余裕が生まれます。

私の場合その僅かな余裕が次に何をすべきか考える出発点になりました。今、ご門徒の皆さんに私ができる事、何を届けられるか？考えました。

ただ、問題はいつもの如く私なので、私にとって「おもしろい」と思える方向に一気に行ってしまうことです。

そんなわけで、今回の永代経法要は住職、副住職、衆徒の3人だけの無観客法要とします。が、しかし、誰も参詣のないところでお勤めしても気合も入りませんし第一、芸がなさすぎます。そこで、ご覧になれる方は限られますが「順正寺ラデオ」に続き「順正寺TV」を始めます。

今回の法要をYouTubeでの配信とzoomを使った生放送での配信を考えています。これがうまくいった暁には、病床でも、遠方でも、スマホ、タブレット、パソコン等インターネット環境があればいつでもどこでもご法事ができる「動画でご法事」を計画しています。

住職、精神病んでる？ いえいえ、これが私の正常です。

どぶに落ちてても、根のあるやつは、いつかは、蓮の花と咲く。いつか、お前が喜ぶような偉い兄貴になりたいくて。奮闘努力の甲斐もなく今日もなみだの、今日もなみだの日が暮れる、日が暮れる。

合掌 住職

「南無阿弥陀仏をとのふ（となえ）れば」という文句で始まる親鸞聖人が作られた和讃（詩）があります。はじめに断らさせていただきますが、「南無阿弥陀仏」と称（とな）えたからといってどうにもなりません。頭が良くなるわけでもなく、金が儲かるわけでもなく、病気が治るわけでもなく、死なないわけでもありません。なにかをしたらこうなる、という考え方を徹底的に否定し、嫌ったのが親鸞という方です。現世利益という欲得付の信仰を完全否定したのが親鸞が立った仏教です。

なのに、この「南無阿弥陀仏を」で始まる和讃を作っちゃったんです。この一連の和讃を「現世利益和讃」と呼んでいるのです。

それどういふこと？矛盾してんじゃん！でしょ？

他化天（たけてん）の大魔王も天神地祇（てんじんじぎ）も念仏した人を助けるとか、悪鬼神（あくきじん）が念仏者を恐れてひれ伏す、みたいな事が書かれていたりするから、もうめちやくちやじゃん！って思えてしまいます。

この「南無阿弥陀仏を称える」といふことは、いまここにあることを、ただただ素直に受け止めるということ。自分にとって都合の悪いことも含めて、わたしをわたしたらしめている一因であり、良し悪し関係な

く大事なことであり、その大事なことが要因として今あるわたしは、理由なく尊く大事なものであるという働き（呼びかけ）に素直に頷き、受け止めるということ。そして、魔王だろうが天神であろうが鬼神であろうが、恐れる必要もなく、そこに頼る必要もない。ということなのです。コロナも恐るに足らず！ということになる筈なのです。あくまで「筈」。そうならぬのが人間つてもんなんですよねえ。やっぱ訳わからんものは怖いし、何とかしたいし、わからないなら何かのせいになりたいし。。。そんな心の動きが自分自身の首を絞めて、苦しくしているのは分かっているもやめられない。で、何をしでかすかという弱者を叩く。だって、強いやつは叩いたら仕返しされるし。弱者を、病人を罹患者を叩く。恥ずかしいですね。情けないですね、いつまでたっても人間てやつは。

この和讃は、そんな自分を恥じれ、という厳しい言葉だと思えます。恥じることすらできなくなったら嫌じゃないですか。寂しすぎますよ。無明の闇は不安を、不安は恐怖を、恐怖は怒りを呼びます。その怒りを弱者に向けた瞬間、さらなる無明へと陥ります。弱者を叩くのはやめましょう。弱者を叩いている自分を恥じましょう。向ける怒りの矛先違いかもです。

この度のコロナ騒動は宗教離れで経営逼迫しているお寺に追い打ちをかけてくれ、絶滅寸前です。しかし私は、座して死を待つほど、生易しい性格ではありませんので、目標も計画もなくひたすら足掻きます。

「今、皆様に何を届けられるか？」その、無駄な足掻き第一弾が「順正寺ラヂオ」で第二弾「順正寺TV」を始めます。手始めに今回の「永代経法要」をYOUチューブ配信します。また、現在準備中ですがZOOMを使って生放送も考えています。これが上手くいったら、例えば、病床や遠方であっても、ご法事を勤められる「動画でご法事」を計画しています。詳しいことは永代経法要までに間に合わせますので、順正寺ホームページ、フェイスブックをご覧ください。

「あなたがすること、ほとんどは無意味であるがそれでもしなくてはならない。そうしたことをするのは、世界を変えるためではなく、世界によって自分が変えられないようにするためにある」 ガンジーいいこと言うぜ

安保健案反対以来、久々に国会前に行くぜ！

住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。その為「法事の時間のお約束を頂いても変更をお願いすることがあります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事

です。そこは相身互い、どうか寛恕下さいますようお願い致します

定例行事 いずれもご自由にご参加下さい

聞法会 毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）2時間ほど

歎異抄を読み聞かす会「微妙音」 3月3日、4月3日、

5月3日、6月3日、7月3日、9月以降は毎月5日午後2時より2時間ほど
一月と八月はお休み

白色白光の会（婦人会）毎月第2木曜午後1時

お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

仏像なぞり書き、塗り絵「仏像描くぞう」

第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から1時間
参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久会ワークショップ「ことばのうみ」朗読を遊ぶ

8月より開講。偶数月、第2土曜、午後2時より。要申し込み。

参加費 会員2000円 一般3000円